

特集

合併70周年特別企画

いまむかし みはるまちなか 行事編

合併70周年を記念し、

昭和からの三春町の移り変わりを
写真で振り返る特別企画

「みはるまちなか」

今月号では行事編として、

昭和と平成のパレードや

イベントなどを振り返ります。

「なつかしい！」や「え、今と違う！」など

感じていただけると嬉しいです。



昭和31年 消防パレード

福島民報社の「第4回民報金ばれん」を受賞し、記念の消防パレードが開催されました。時代を越えて平成19年には、「第55回民報金ばれん」を受賞。51年ぶり・二度目の受賞という快挙を成し遂げました。

昭和



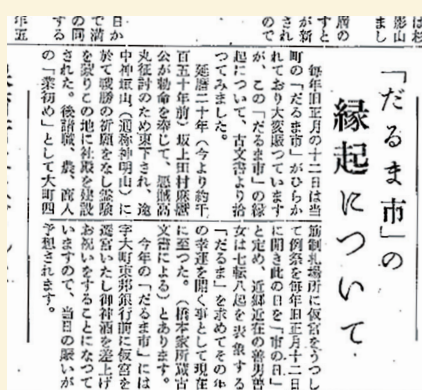
昭和32年

町民運動会

昭和30年代ごろから始まった三春町の町民運動会は、いつしか町民が心待ちにする一大イベントとなりました。当時プログラムは30を超え、子ども対大人の綱引きでは世代の垣根を越えた真闘勝負が繰り広げられました。また、消防団の威信をかけた俵引き対決など、ユニークな種目が町の熱気をさらに高めていきました。



▲昭和32年11月1日発行
「広報みはる」より



▲昭和32年2月1日発行「広報みはる」より

だるま市

三春町で江戸時代から300年以上続く新春恒例のだるま市。三春のだるまは頭の部分が平らで赤みを帯びた力強い顔つきが特徴で、今と変わらず店先にずらりと並ぶ様子がうかがえます。現在でも多くの人々がだるまを求めて並びますが、当時の写真や広報誌を見ても賑わっている様子が分かります。

